

**山梨地方最低賃金審議会**  
**令和２年度第４回山梨県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、**  
**情報通信機械器具製造業最低賃金専門部会 議事録（一部議事要旨）**

１ 日 時：令和２年１１月１０日（火）午後２時００分～午後３時３０分

２ 場 所：山梨労働局 １階 大会議室

３ 出席者：公益代表：伊藤委員、鷹野委員

労働者代表：大森委員、小林委員、三輪委員

使用者代表：一之瀬委員、菊地委員、佐藤委員

事務局：田村労働基準部長、太田良賃金室長、小林賃金指導官

４ 議 事

（１）改正審議

（２）その他

５ 審議会内容

（賃金指導官）

ただいまから、山梨地方最低賃金審議会、第４回山梨県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金専門部会を開催いたします。

本日は、公益側、石垣委員から欠席の御連絡をいただいておりますが、全委員の３分の２以上で、かつ、各側３分の１以上の委員の御出席をいただいておりますので、最低賃金審議会令第５条第２項の規定によりまして、審議会を開催し、決議することができますことを御報告いたします。

それでは、鷹野部会長、以後の議事につきまして、進行をお願いいたします。

**【 議事（１） 改正審議 】**

（鷹野部会長）

それでは、早速、金額の審議に入りたいと思いますが、その前に事務局で何かございますか。

（賃金室長）

それでは、２点、説明をさせていただきます。

まず、１点目は、各側委員の皆様の控室についてです。

労側の委員の皆様には「４階の相談室」を、使側の委員の皆様には「３階の相談室」を用意してございます。

待機いただく際には、事務局が御案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

２点目は資料の説明です。

お手元に配布しております資料の１ページを御覧ください。

これまでもお示ししております全国の電気機械器具等製造業に係る特定最低賃金の改正状況をまとめた一覧表の最新版になります。

山梨以外は出そろった形となっています。

また、資料の３ページからは、最新の県内の鉱工業指数を、資料の１３ページからは、最新の山梨中央銀行の月報を、資料の１９ページからは、当局が発表した最新の労働市場の動きの資料を入れてございます。

審議の御参考にしていただければと思います。

説明は以上です。

（鷹野部会長）

ただいまの説明について、何か御質問等はございますか。

（各側委員）

（質問等なし。）

### 【議 事 （１）改正審議】

（鷹野部会長）

それでは、これより、具体的な金額審議に入ります。

（大森委員）

ちょっとよろしいでしょうか。

公労使そろったところで、労側から少し発言させていただきたいと思います。

（鷹野部会長）

大森委員から何か発言をしたいということですので、それを聴いた後に、金額審議に入りたいと思います。

（大森委員）

未満率、影響率の取り扱いについてお話をさせていただきます。

以前、特定最低賃金の審議の中で、労働局の資料において、高い未満率が示されていた年がありました。

当時の労働局の説明では、未満率・影響率の資料は、全業種を対象にした賃金調査を基にしたものであり、電気機械器具製造業を専門に対象とした調査結果ではないため、年によって電気機械器具製造業のサンプル数が変動し、少ない数値をサンプリングした場合には偏った数値が出てしまう場合がある。

あくまで参考数値としていただきたいとの説明がありました。

このことから、本年の特定最低賃金の審議におきましても、未満率・影響率の資料はあくまで参考とすべきであり、決定的な根拠にはすべきではないと考えます。

また、事務局におきましては、資料に注釈を入れるなど、過去の議論が盛り込まれるような改善をお願いします。

以上です。

（鷹野部会長）

未満率・影響率の資料については、電気、自動車それぞれの特定最低賃金に関係するものでありますが、自動車につきましては既に結審しております。

労側からの発言につきましては、この場では御意見として承り、今後の取り扱いについては、3月の運営小委員会で議論し、次年度に反映させたいと思いますがよろしいでしょうか。

（各側委員）

（異議なし。）

（鷹野部会長）

それでは、本日は、公益案をお示しし、できる限り、全会一致による決議で結審し、答申を行いたいと考えておりますので、各側の御協力をよろしくお願いします。

前回の専門部会におきましては、労働者側は「＋2円」、使用者側は「＋1円」と1円差まで、歩み寄りいただきましたが、この1円差の溝は埋まらず、一旦持ち帰り、再検討いただくこととなっておりました。

再検討いただいた結果につきまして、各側からお伺いしたいと思います。

各側の委員には、一旦別室で待機をお願いします。

それでは、ここで、いったん専門部会の審議を中断いたします。

（以下、金額審議を実施。）

**概要は、以下のとおり。**

**1 公益委員打合せ**

**2 労働者側と折衝**

**(1) 労働者側の主張**

電気大手の上期決算では回復基調が鮮明になっている。

県内の中小地場の企業も仕事量の回復が期待されている。

他県の引上げ状況を見ると、平均引上げ額は2.26円となっている。

また、地賃の引上げ額との差を見てみると、他県の平均はプラス0.63円となっている。

Bランク内で見ると、11府県の平均引上げ額は1.9円、地賃との差は平均でプラス0.6円となっている。

最新の鉱工業指数の概要、2020春季交渉結果の未組織労働者への波及、東京・神奈川との格差改善、公正競争確保の観点から地賃を上回る引上げを行う必要があり、2円から1円に歩み寄る要素はない。

**3 使用者側と折衝**

**(1) 労働者側の主張を説明**

**(2) 使用者側の主張**

他県の状況を見れば、地賃よりも上がっている県が多いことは承知している。

山梨県の電気の特定最賃額は、他県に比べると高い。

これは、これまで労使が協力して上げてきた成果であり、一定の金額が確保されている。

一方、山梨は、地賃と電気の特定最賃との差が大きい。本来は、地賃が上がって、特賃との差が縮まるべきである。

このような状況下で、地賃と同じ引上げ額は受け入れられるが、それ以上の引上げは受け入れられない。これが最終回答である。

**(3) 公益委員見解**

公益委員で検討した上で公益案を示したい。

**4 労働者側と折衝**

**(1) 使用者側の主張を説明**

**(2) 公益委員見解**

労側の主張は理解できるが、山梨県ではまだ、中小企業は厳しい。

1円であっても、中長期的な最低賃金を引き上げるという流れを止めないという役目は果たせる。

**5 使用者側と折衝**

**(1) 労働者側の主張を説明**

(2) 公益委員見解

1 円で公益委員案をお示ししたい。

(以上で金額審議を終了)

(鷹野部会長)

審議を再開いたします。

労使双方に個別にお伺いしまして、各側の見解及び意見をもとに、数次にわたって個別折衝を重ねた結果、ここに公益案を取りまとめるに至りました。

それでは、公益案を読み上げます。

令和 2 年度、山梨県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金改正審議公益委員案

令和 2 年 1 1 月 1 0 日

労働者代表委員及び使用者代表委員の基本的見解を踏まえ、数次にわたって個別折衝を重ねた結果、下記のとおり公益委員案を取りまとめるに至りましたので、ここで提示いたします。

記

1 時間、9 1 4 円。引上げ額、1 円、引上げ率、0 . 0 1 パーセント。

それではこの公益案について採決を致します。

慣例により、反対から行います。

公益案に反対の委員は、挙手を願います。

労働者側 3 名、ありがとうございました。

公益案に賛成の委員は、挙手を願います。

使用者側 3 名、公益側 1 名、合計 4 名、ありがとうございました。

念のため、確認しますが、保留の委員はございませんね。

ありがとうございました。

賛成多数ということで、公益案どおり可決をさせていただきます。

残念ながら、全会一致での決議とはなりませんでした。出席委員の過半数の賛成により、公益案どおりと決定させていただきました。

それでは、ただいまの当専門部会の結論、審議経過につきまして、今後開催されます本審において、報告することとなりますので、その「報告案」を事務局に作成していただきました。

事務局から報告案の配布と朗読をお願いします。

(賃金室長)

それでは報告書の案につきまして、朗読させていただきます。

令和 2 年 1 1 月 1 0 日

山梨地方最低賃金審議会会長反田一富殿

山梨地方最低賃金審議会、山梨県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金専門部会部会長鷹野正則

山梨県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金の改正決定に関する報告書

当専門部会は、令和 2 年 8 月 2 0 日、山梨地方最低賃金審議会において付託された山梨県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金の改正決定について、慎重に審議を重ねた結果、別紙のと通りの結論に達したので報告する。

なお、本件の審議に当たった専門部会の委員は下記のとおりである。

記

公益代表委員、石垣千秋、伊藤一帆、鷹野正則

労働者代表委員、大森竜、小林賢、三輪茂樹

使用者代表委員、一之瀬滋輝、菊地明久、佐藤元章

敬称は省略させていただきました。

次のページは、別紙になります。

山梨県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金。

- 1 適用する地域、山梨県の区域
  - 2 適用する使用者、前号の地域内で電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業又は純粹持株会社（管理する全子会社を通じての主要な経済活動が電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業又は情報通信機械器具製造業に分類されるものに限る。）を営む使用者
  - 3 適用する労働者  
前号の使用者に使用される労働者。ただし、次に掲げる者を除く。
    - ( 1 ) 1 8 歳未満又は 6 5 歳以上の者
    - ( 2 ) 雇入れ後 6 月未満の者であって、技能習得中のもの
    - ( 3 ) 次に掲げる業務に主として従事する者
- イ 清掃又は片付けの業務
- ロ 手作業により又は手工具若しくは小型動力機を用いて行う取付け、組線、バリ取り、かしめ、巻線又は穴あけの業務
- ハ 手作業により行う熟練を要しない軽易な目視による選別・検数、材料若しくは部品の運搬・取り揃え、包装、袋詰め、箱詰め又はラベル貼りの業務

4 前号の労働者に係る最低賃金額、１時間、９１４円

5 この最低賃金において賃金に算入しないもの、精皆勤手当、通勤手当及び家族手当

6 効力発生の日、法定どおり

次のページは、山梨県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金の改正決定審議経過の概要でございます。

専門部会につきましては、第１回を１０月６日に、第２回を１０月１５日に、第３回を１０月１９日に開催いたしました。

第４回目を本日、１１月１０日に開催いたしまして、金額審議を行っていただいた結果、賛成多数により決議いただきました。

その下は、本審でございますが、令和２年８月２０日に開催しております。

以上でございます。

（鷹野部会長）

それでは、この報告書の案につきまして、何か御意見等はございますか。

異議がなければ、この報告書案のとおり、次回の本審に報告したいと思えます。

いかがでしょうか。

（各側委員）

異議なし。

（鷹野部会長）

それでは、本案により本審に報告することとします。

（鷹野部会長）

次に、今後の手続につきまして、事務局から説明をお願いします。

（賃金室長）

ただいま、山梨県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金の改正につきまして、専門部会の採決が行われました。

全会一致による決議に至らなかったことから、今後、開催されます本審におきまして、改めまして、本審委員の皆様にご決議いただく必要がございます。

本審の開催日につきましては、自動車関係の特定最低賃金に係る採決を行うために、既に日程が確定してございまして、１１月１６日午前１０時３０分から甲府ニュー芙蓉において開催されることとなっております。

同本審におきまして、電気関係の特定最低賃金につきましても、採決いただくこととなります。

本審におきまして、改めて採決をいただいた後は、労働局長あてに答申をいただき、当日中に、この答申内容を山梨労働局の掲示板に公示いたします。

最低賃金法第11条第2項の規定により、関係労働者及び関係使用者は公示の日から15日以内に異議を申し出ることができることとされており、関係労使より異議の申出がなされた場合は、改めて審議会の意見を求めることと規定されておりますので、本審、いわゆる「異議審」を開催させていただき、異議申出の内容につきまして審議を行っていただくこととなります。

異議審を開催することとなった場合につきましては、改めまして、本審委員の皆様の日程調整をさせていただき、開催日を決定することとなります。

異議申出がなされなかった場合、または、異議申出を受けて、「異議審」を開催し、答申どおりが適当であるとの決定が改めてなされた場合、いずれの場合におきましても、労働局長が答申に沿って、最低賃金の改正決定を行い、官報公示を行わせていただきます。

この官報に公示がなされ、その30日後に改正された最低賃金が発効することとなります。

手続きにつきましては、以上でございます。

## 【 議事（２）その他 】

（鷹野部会長）

それでは、次の議題の「（２）その他」に入りますが、何かございますか。

（各側委員）

特になし。

（鷹野部会長）

事務局から何かありますか。

（賃金室長）

ございません。

（鷹野部会長）

それでは、以上で、本日の専門部会を終了します。

本日の議事録の署名ですが、大森委員と一之瀬委員にお願いします。

よろしくお願いいたします。



全会一致には至りませんでしたが、結審となり、本部会における全ての審議は終了いたしました。

長時間にわたる審議、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

署 名 欄

公益委員

---

労働者委員

---

使用者委員

---